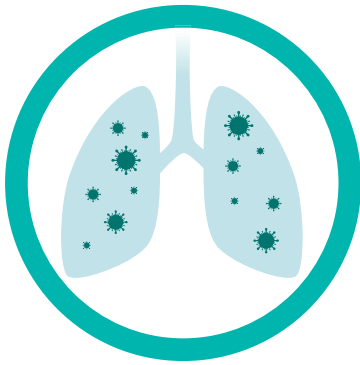




新型コロナウイルス 感染症重症例の回復 について



新型コロナウイルス感染症重症例は人工呼吸器や酸素療法、長時間の固定や安静臥床の影響により、回復のためのリハビリテーションが必要になるでしょう。以下のような症状を患う可能性があります。



- 肺機能障害
- 重度の筋力低下
- 関節のこわばり
- 倦怠感
- 移動機能と日常生活能力の制限
- せん妄やその他の認知機能障害
- 飲み込みにくさと意思疎通の困難さ
- メンタルヘルスの不調と心理社会的サポートの必要性



理学療法士は病院やその他の施設で新型コロナウイルス感染症の重症例のリハビリテーションにおいて重要な役割を果たすことができます。重症例では、身体的・情動的・認知的および社会機能的に重度の制限を受ける危険性があります。

理学療法士は新型コロナウイルス感染症の早期からも、また重症者に対する継続したリハビリテーションにおいても必要不可欠です。以下のことで役立つことができます。

重症から回復するまでには時間がかかります。

理学療法士はその過程で患者を改善に導き、重要な目標に優先順位をつけて介入することができます。

理学療法士は多職種チームの一員としてニーズをサポートします。

- 早期離床と動作の再獲得
- シンプルな運動
- 日常生活への復帰
- 肺機能の回復
- 呼吸機能低下の管理
- 倦怠感への対処
- バランスの取れた活動と休息



理学療法士は身体活動を取り入れることで運動能力に働きかけ、日常生活への復帰を助けることができます。

ウイルス感染後疲労症候群

新型コロナウイルス感染症から回復しても最大10%の人がウイルス感染後疲労症候群（PVFS）を発症する可能性があります。もし、気分が優れなかったり活動により気分不良が徐々に悪化するのであれば、理学療法士もしくは医療従事者に相談しPVFSかどうかの評価をしてもらってください。PVFSを発症した場合のリハビリテーションでは異なる視点での対策が必要とされます。



World
Physiotherapy

www.world.physio/wptday